

夏の一日

中津市長 奥塚 正典

夏の土曜日、久しぶりに昼間がフリー、ソフトボール部の練習を見ました。普段は市役所で仕事に精出す職員が仲間とスポーツに興じている姿はさすがに、若者のエネルギッシュな動きは何ともうらやましいかぎりです。

遡ること40年、私もこのスポーツに明け暮れた時があります。自分もあんなに元気に体全体で思い切りプレーしていたのかなとなつかしく思い出します。それでも気持ちだけは昔のまま、下手の横好き、炎天下にもかかわらず、誘いに乗って紅白試合に参加するという暴挙。実のところ、日差しの強さに準備運動にも自然と日陰を求めている自分の姿がおかしく一人笑っていたのです。

一転、夕方からはホタル観賞イベント、山国と深耶馬溪に出かけました。若人が躍動するコンサートやダンスに地域の皆さんと一緒に聴衆になり手拍子を打ち歌います。そして川沿いのホタル出現スポットに移動、真っ暗な山際に季節のホタルが無数に飛び交う、暗闇の中の幻想的な世界。思わず「おーっ」と声が上がります。ホタルの乱舞は点滅する大きなクリスマスツリーを思わせ、次から次へと想像力を掻き立てます。過去の思い出や自分の世界に入り込み、勝手に思いを巡らすにはもってこいです。

子どもの頃、ホタルを追いかけて手にとってどうして光るのか、不思議なすごい虫だと感心しました。一方、ホタルの光は、誰しもいつかは消え去っていくものだと思わせて、寂しくはかなくもあります。



ホタルの乱舞

昼は目が痛くなりそうにまぶしい太陽、夜は山間の暗闇にホタルの神秘的あかり。スポーツに打ち興じる肉体とホタル火に物思う心。それぞれ相對しながらのびやかに忙しく立ち回った一日、心地よい疲労感でした。ひょっとしたら私の「ワーク・ライフバランス(仕事と生活の調和)」なのかも。